

ビデオチェッカー
VC-202
VIDEO CHECKER
取扱説明書

必ずお読みください！

ビデオトロン株式会社

この製品を安全にご使用いただくために



誤った取扱いをすると死亡または重傷、火災など重大な結果を招く恐れがあります。

1、電源プラグ、コードは

- ・指定された電源電圧 (AC100V 50/60Hz) 以外では使用しないでください。
- ・AC 電源 (室内電源) の容量を超えて機械を接続し長時間使用すると火災の原因になります。
- ・差込みは確実に。ほこりの付着やゆるみは危険です。
- ・濡れた手でプラグの抜き差しを行わないでください。
- ・抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。コードを持って引っ張らないでください。
- ・コードは他の機器の電源ケーブルや他のケーブル等にかませないでください。
- ・コードの上に重い物を載せないでください。電源がショートし火災の原因になります。
- ・機械の取り外しや清掃時等は必ず機械の電源スイッチを OFF にしてからプラグを抜いてください。

2、本体が熱くなったら、焦げ臭いにおいがしたら

- ・すぐに電源スイッチを切ってください。ただし、電源回路上、切れない場合があります。その時は電源プラグを正しく抜いてください。機械の保護回路により電源が切れた場合、あるいはブザーによる警報音がした場合にはすぐに電源スイッチを切るか、電源プラグを抜いてください。
- ・上下に設置されている機械の電源スイッチまたはメインのブレーカーを切ってください。
- ・空調設備を確認してください。
- ・しばらく、手や体を触れないでください。ファンの停止が考えられます。設置前にファンの取り付け場所を確認しておきファンが停止していないか確認をしてください。5年に一度はファンの交換をおすすめします。
- ・機械の通風孔をふさぐような設置をしないでください。熱がこもり火災の原因になります。
- ・消火器は必ず1本マシンルームに設置し緊急の場合に取り扱えるようにしてください。
- ・弊社にすぐ連絡ください。

3、機械の近くでは飲食やタバコ、火気を取り扱うことは絶対に行わないでください。

- ・特にタバコ、火気を取り扱っていると電気部品に引火し火災の原因になります。
- ・機械の近く、またはマシンルーム等の密閉された室内で可燃性ガスを使用すると引火し火災の原因になります。
- ・コーヒーやアルコール類が電気部品にかかりますと危険です。

4、修理等は、ご自分で勝手に行わないでください。

- 下記のあやまちにより部品が発火し火災の原因になります。
- ・部品の取り付け方法 (極性の逆等) を誤ると危険です。
 - ・電源が入っている時に行くと危険です。
 - ・規格の異なる部品の交換は危険です。

5、その他

- ・長期に渡ってご使用にならない時は電源スイッチを切り、安全のため電源プラグを抜いてください。
 - ・重量のある機械は1人で持たないでください。最低2人がかかえてください。腰を痛めるなど、けがのもとになります。
 - ・ファンが回っている時は手でさわらないでください。必ず停止していることを確かめてから行ってください。
 - ・車載して使用する時は確実に固定してください。転倒し、けがの原因になります。
 - ・本体のラックマウントおよびラックの固定はしっかり建物に固定してください。地震などによる災害時危険です。
- また、地震の時は避難の状況によりブレーカーを切るか、火災に結び付かない適切な処置および行動を取ってください。そのためには日頃、防災対策の訓練を行っておいてください。
- ・機械内部に金属や導電性の異物を入れないでください。回路が短絡して火災の原因になります。
 - ・周辺の機材に異常が発生した場合にも本機の電源スイッチを切るか電源プラグを抜いてください。



注意

誤った取扱いをすると機械や財産の損害など重大な結果を招く恐れがあります。

1、操作卓の上では飲食やタバコは御遠慮ください。

コーヒーなどを操作器内にこぼしスイッチャー部品の接触不良になります。

2、機械の持ち運びに注意してください。

落下等による衝撃は機械の故障の原因になります。

また、足元に落としたりしますと骨折等けがの原因になります。

3、フロッピーディスクやMOディスクを取り扱う製品については

・規格に合わないディスクの使用はドライブの故障の原因になります。

マニュアルに記載されている規格の製品をご使用ください。

・長期に渡り性能を維持するために月に一回程度クリーニングキットでドライブおよびMOディスクをクリーニングしてください。

・フィルターの付いている製品はフィルターの清掃を行ってください。

通風孔がふさがり機械の誤動作および温度上昇による火災の原因になります。

・強い磁場にかかる場所に置いたり近づけたりしないでください。内部データに影響を及ぼす場合があります。

・湿気やほこりの多い場所での使用は避けてください。故障の原因になります。

・大切なデータはバックアップを取ることをおすすめします。

定期的なお手入れをおすすめします。

- ・ほこりや異物等の混入により接触不良や部品の故障が発生します。
- ・お手入れの際は必ず電源を切ってプラグを抜いてから行ってください。
- ・正面パネルから、または通風孔からのほこり、本体、操作器内部の異物等の清掃
- ・ファンのほこりの清掃
- ・カードエッジコネクタタイプの基板はコネクタの清掃を一月に一度は行ってください。

また、電解コンデンサー、バッテリー他、長期使用劣化部品等は事故の原因につながります。

安心してご使用いただくために定期的な(5年に一度)オーバーホール点検をおすすめします。

期間、費用等につきましては弊社までお問い合わせください。

** 上記現象以外でも故障かなと思われた場合は弊社にご連絡ください。

連絡先……………ビデオトロン株式会社

〒193-0835 東京都八王子市千人町2 - 17 - 16

TEL	042 - 666 - 6329
FAX	042 - 666 - 6330
受付時間	8:30 ~ 17:00
E-Mail	cs@videotron.co.jp

土曜・日曜・祝祭日の連絡先

留守番電話	042 - 666 - 6311
緊急時 **	090 - 3230 - 3507
受付時間	9:00 ~ 17:00

**携帯電話の為、通話に障害を起す場合がありますので、あらかじめご了承ください。

..... 目次

この製品を安全にご使用いただくために.....	1
1. 概説.....	1
(特長)	1
2. 機能チェック	2
1. 構成	2
2. 機能チェック接続	2
3. POWER ONまでの手順	3
4. 基本動作チェック	3
3. 各部の名称と働き	4
1. 正面	4
2. 上面	5
3. 右側面	6
4. 左側面	6
4. 操作方法	7
1. 基本操作	7
2. 操作例	7
3. メニュー項目	9
4. 工場出荷時の設定	13
5. メニューツリー	14
5. トラブルシューティング	15
6. 仕様.....	16
1. 機能	16
2. 定格	16
3. 性能	16
4. 系統図	17
7. 外形寸法図	18

1. 概説

VC-202ビデオチェッカーは中継やロケ現場などで映像と音声をモニターできる小型・軽量の液晶ビデオモニターです。本体の電源はACアダプターとバッテリーホルダー（オプション）を使用して単3形アルカリ乾電池や単3形ニッケル水素電池による運用が可能ですのでAC電源がない現場でも使用できます。

（特長）

入力信号はSDI信号(1080i/50, 1080i/59.94i, 1080i/60, 1080sF /23.98, 1080sF /24, 720p/59.94, 720p/60, 525i/59.94, 625i/50)、アナログコンポジット信号(NTSC, PAL)に対応しています。

PAL-M, PAL-Nには対応していません。

モニター画面の映像はブライトネス、クロマ、フェーズの調整ができます。

モニター画面に表示する4:3, 13:9, 14:9 マーカーがあります。(HD-SDIのみ)

入力音声はエンベデット(48kHz同期), AES/EBU(48kHz), アナログ(モノラル)信号に対応しています。

モニター画面に入力音声のオーディオレベルメーターをオーバーレイ表示できます。

2. 機能チェック

1. 構成

[本体]

番号	品名	型名・規格	数量	記事
1	VC-202 本体	VC-202	1 台	
2	AC アダプター	TAS2602-Y-0-ST AC100 ~ 120V 50Hz/60Hz DC9V 1.1A	1 台	
3	取扱説明書		1 部	本書

[バッテリーホルダー(オプション)]

番号	品名	型名・規格	数量	記事
1	バッテリーホルダー	VBH-26 バッテリーホルダー	1 台	
2	取扱説明書		1 部	

2 機能チェック接続

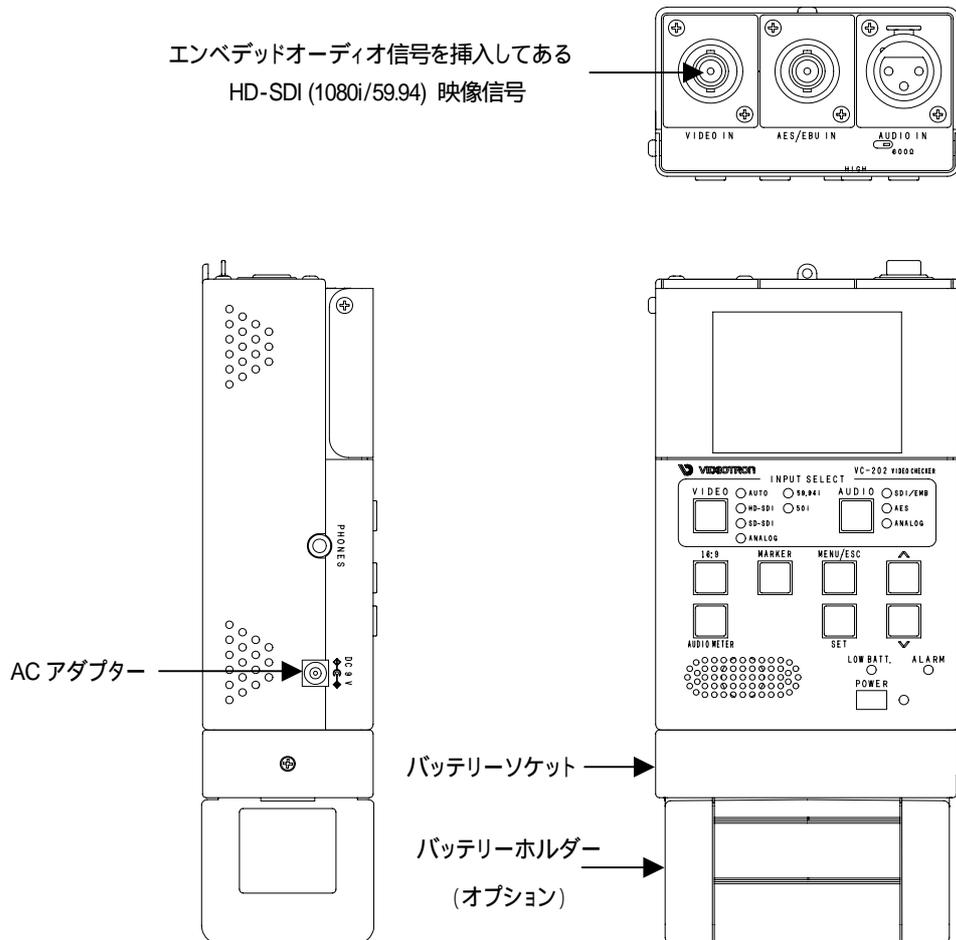


図1 機能チェック接続図

3. POWER ON までの手順

- (1) ACアダプターをVC-202本体に接続するか、バッテリーホルダー に単3形アルカリ乾電池(LR6)またはニッケル水素電池(HR6)を6本入れて接続します。

使用方法はバッテリーホルダー付属の「VBH-26取扱説明書」を参照してください。

- (2) VIDEO INにモニターする映像信号を接続します。

4. 基本動作チェック

下記の操作で本機が正常に動作していることをチェックします。

正常に動作しない場合はP-13「5.トラブルシューティング」を参照してください。

システム例は映像フォーマット:エンベデッドオーディオ信号が挿入してあるHD-SDI(1080/59.94i)映像信号

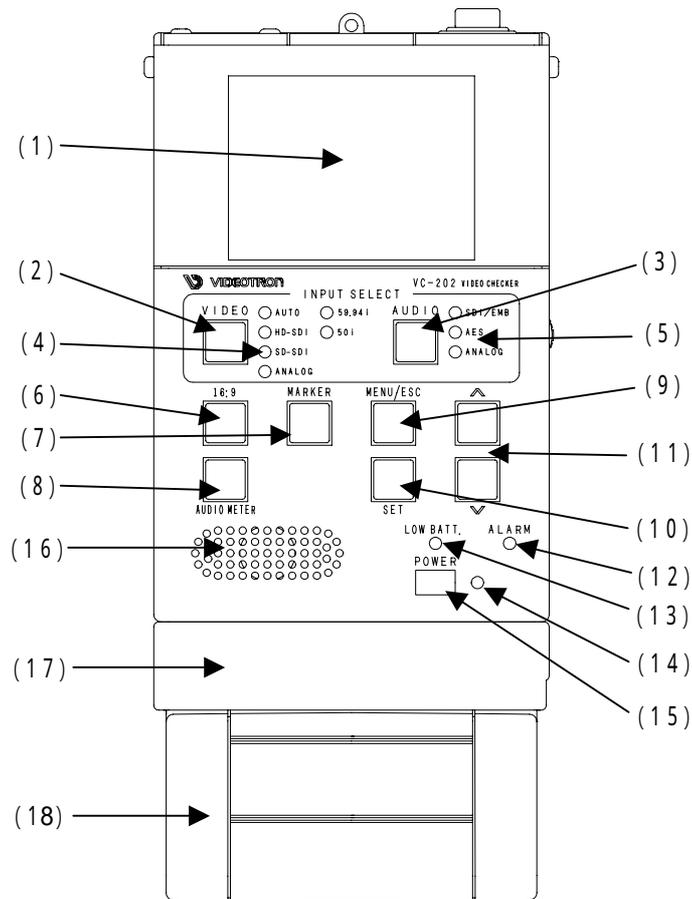
- (1) 「2.機能チェック接続」と「3.POWER ONまでの手順」を参照して、本体の電源スイッチを投入します。
- (2) モニター画面に機種名「VC-202」とファームウェアバージョンを表示します。
- (3) INPUT SELECTのVIDEOボタンを押してHD-SDIを選択します。
- (4) VIDEO INに入力している映像がモニター画面に表示します。
- (5) INPUT SELECTのAUDIOボタンを押してSDI/EMBを選択します。
- (6) 内蔵スピーカーから音声が出力します。

SDIにエンベデット音声が入力していない場合は無音です。

- (7) 本体正面のAUDIO METERボタンを押すとボタンが点灯して、オーディオレベルメーターを表示します。
- (8) 本体右側面のVOLUMEつまみを上げると音声は大きくなり、下げると音声は小さくなります。

3. 各部の名称と働き

1. 正面



(1) モニター画面

入力映像とオーディオレベルメーターを表示します。

(2) VIDEOボタン

SDI(HD/SD)、アナログからモニターする映像を選択します。ボタンを長く押しとAUTOのランプが点灯して自動選択モードになります。自動選択モードは入力信号を自動的に判定してSDIとアナログを切り替えます。入力信号を正常に受け取れない場合は自動選択モードを解除して最後に正常信号を受け取っていた状態に戻ります。

(3) AUDIOボタン

モニターする音声をエンベデット、AES、アナログから選択します。

(4) HD-SDI, SD-SDI, ANALOG, 59.94i, 50iランプ

選択している映像信号入力のランプが点灯します。

(5) AUDIO FORMAT ランプ

選択している音声信号入力のランプが点灯します。

(6) 16:9ボタン (SD-SDI, ANALOG)

映像のアスペクト比を切り替えます。SDTV 16:9映像の垂直方向を圧縮して正しいアスペクトで表示します。

(7) **MARKER**ボタン (HD-SDI)

HDTVで使用するマーカーを切り替えます。マーカーはOFF、4:3、13:9+4:3、13:9、14:9+4:3、14:9の順番で切り替わります。

(8) **AUDIO METER**ボタン

オーディオレベルメーターの表示位置を切り替えます。オーディオレベルメーターはOFF、UNDER、OVER、FULLの順番で切り替わります。

(9) **MENU/ESC**ボタン

各種設定を行う時に、メニューモードへ切り替えます。設定メニュー表示中はキャンセルの動作をします。

(10) **SET**ボタン

各種設定を行う時に決定します。メニューモード以外で**SET**ボタンを2秒間押すと"KEL LOCK"と表示してボタン操作を禁止します。解除するには再度、**SET**ボタンを2秒間押します。

(11) **□ □**ボタン

各種設定を行う時に、ボタンを押して項目を選択します。

(12) ALARM ランプ

MENU ALRM LMPで設定したアラーム条件を検出して点灯します。

(13) LOW BATT ランプ

電池のアラームランプです。電池の電圧が低下した時に点灯します。

(14) POWER ランプ

POWERスイッチをオンで点灯、オフで消灯します。バッテリーホルダーで運用時にPOWERスイッチをオンしても点灯しない、あるいは点滅する場合はバッテリーホルダー内の電池を交換してください。

(15) **POWER**スイッチ

電源スイッチです。電源オンでPOWERランプが点灯します。

電源は付属のACアダプター(DC 9V)を本体のDC 9V IN ジャックに接続するかバッテリーホルダーにバッテリーを接続してください。

(16) 内蔵スピーカー

モニター音声を出力します。

(17) バッテリーソケット

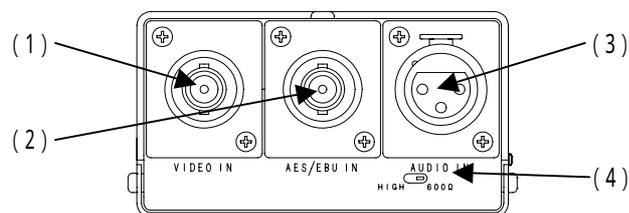
バッテリーホルダーを接続します。

(18) バッテリーホルダー

単3形アルカリ乾電池(LR6)または単3形(HR6)を6本使用するバッテリーホルダーです。

充電機能はありませんのでニッケル水素電池は指定の充電器を使用して充電してください。またVC-202plusを使用しない1時や長期間保存する場合はバッテリーホルダーから電池を取り外してください。

2. 上面



(1) VIDEO IN

映像入力端子です。HD-SDI または SD-SDI、NTSC アナログコンポジットの信号を入力します。

(2) AES/EBU IN

AES/EBU デジタル・オーディオの入力端子です。AES3idの信号を入力します。

(3) AUDIO IN

アナログ・オーディオの入力端子です。

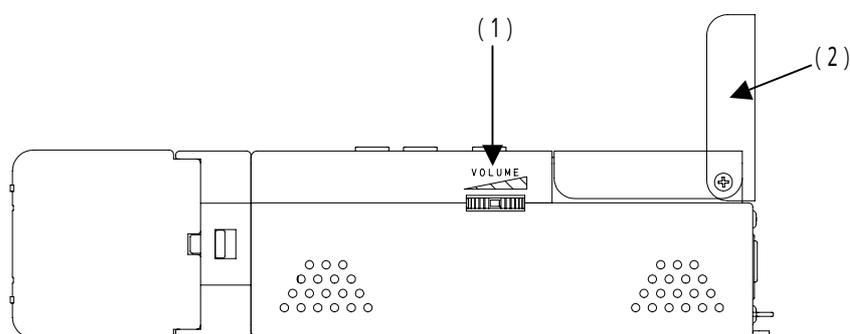
(4) 600 /HIGH 終端抵抗切り替えスイッチ

平衡アナログ音声信号入力の終端抵抗切り替えスイッチです。

音声信号源の出力インピーダンスに応じて終端抵抗を 600 Ω、または HIGH に設定してください。

出荷時設定は 600 Ω 終端になっています。

3. 右側面



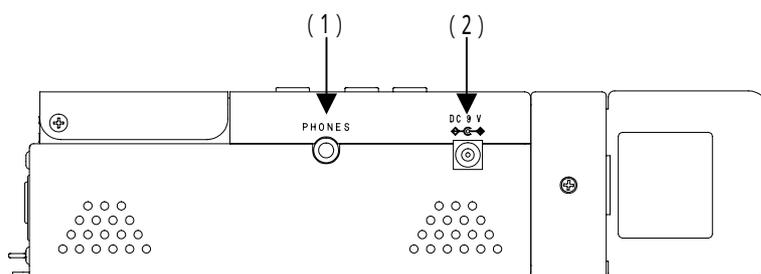
(1) ボリューム

内蔵スピーカーとヘッドフォンのモニター音声レベルを調整します。

(2) フード

モニター画面を保護します。

4. 左側面



(1) PHONES OUT

ステレオヘッドフォンを接続する 3.5mm ステレオジャックです。16Ω～32Ω のステレオヘッドフォンに対応しています。

(2) DC 9V IN(外部電源入力)

本体に外部から電源を供給する入力です。付属の AC アダプター(DC 9V) を接続します。

本製品付属の AC アダプター以外は使用しないでください。また使用しないときは AC アダプターをコンセントから抜いてください。付属の電源アダプターは、日本国内でのみ使用できます。

4. 操作方法

1. 基本操作

- (1) 本体の電源を投入します。
- (2) **MENU/ESC**ボタンを押すとボタンが点灯してメインメニューをモニター画面に表示します。
- (3) ボタンを押して項目を選択します。
- (4) **SET**ボタンを押して項目を決めます。選択した項目によって「」が右側のサブメニューに移ります。
- (5) (3)、(4)の操作を繰り返し、設定の変更を行います。
項目を選択した後、その設定を決定するには必ず**SET**ボタンを押してください。
- (6) サブメニューから抜けるには**MENU/ESC**ボタンを押すと「」が左側のメインメニューに戻ります。
- (7) メインメニューを終了する場合は**MENU/ESC**ボタンを押します。

2. 操作例

- (1) **MENU/ESC**ボタンを押すとボタンが点灯してメインメニューに入ります。

HD MK	OFF
CENT MK	4 : 3
ASPECT	1 3 : 9 + 4 : 3
AU MON	1 3 : 9
AU METER	1 4 : 9 + 4 : 3
PICTURE	1 4 : 9
ALRM LMP	
FMT DSP	
ERR STAT	
VERSION	

図中の太い文字はモニター画面上で白文字表示します。 **HD MK**は白文字表示で現在の選択している項目を示します。それ以外の項目はグレーの文字で表示します。 ボタンを押すと選択する項目が替わり、**SET**を押すと決定します。サブメニューからメインメニューへの移動、メインメニューを終了する場合は**MENU/ESC**を押します。

- (2) ボタンを押して「HD MK」を選択し**SET**を押します。「」が現在の設定へ移動します。

HD MK	OFF
CENT MK	4 : 3
ASPECT	1 3 : 9 + 4 : 3
AU MON	1 3 : 9
AU METER	1 4 : 9 + 4 : 3
PICTURE	1 4 : 9
ALRM LMP	
FMT DSP	
ERR STAT	
VERSION	

上の例ではHD MKは「OFF」の設定です。

(3) ボタンを押して「4:3」を選択します。

HD MK	OFF
CENT MK	4 : 3
ASPECT	1 3 : 9 + 4 : 3
AU MON	1 3 : 9
AU METER	1 4 : 9 + 4 : 3
PICTURE	1 4 : 9
ALRM LMP	
FMT DSP	
ERR STAT	
VERSION	

(4) ボタンを押すと設定を決定して「 」が左側のメニューへ戻ります。また ボタンを押さずに ボタンを押すと設定を変更しないで「 」が左側のメニューへ戻ります。

(5) ボタンを押して「AU METER」を選択し ボタンを押します。

(6) ボタンを押して「LOC」を選択し ボタンを押します。LOCの文字がグレーから白になります。

HD MK	LOC : OFF
CENT MK	CH : 8CH
ASPECT	SC : - 2 0 d B
AU MON	
AU METER	
PICTURE	
ALRM LMP	
FMT DSP	
ERR STAT	
VERSION	

上の例ではAU METERは「OFF」の設定です。

(7) ボタンを押して「OVER」を選択します。

HD MK	LOC : OVER
CENT MK	CH : 8CH
ASPECT	SC : - 2 0 d B
AU MON	
AU METER	
PICTURE	
ALRM LMP	
FMT DSP	
ERR STAT	
VERSION	

上の例ではAU METERは「OVER」の設定です。

(8) ボタンを押して設定を決定します。また設定を変更しない場合は ボタンを押します。

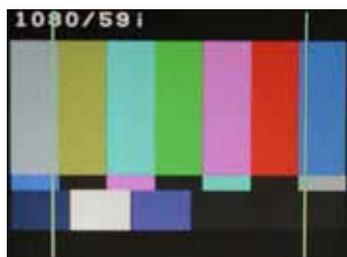
2. メニュー項目

メインメニューには以下の設定項目があります。[]の中はメニュー表示画面上の表記です。

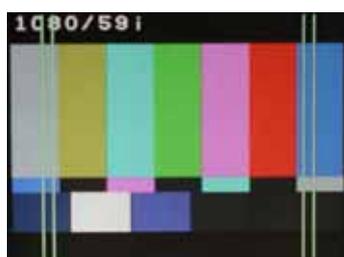
(1) HD MARKER[HD MK](HD-SDIのみ)

HDTVで使用するマーカを切り替えます。

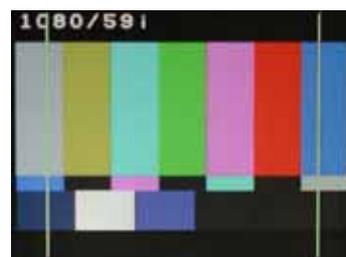
OFF[OFF]	マーカを表示しません。
4:3[4:3]	4:3マーカを表示します。
13:9+4:3[13:9+4:3]	13:9マーカと4:3マーカを表示します。
13:9[13:9]	13:9マーカを表示します。
14:9+4:3[14:9+4:3]	14:9マーカと4:3マーカを表示します。
14:9[14:9]	14:9マーカを表示します。



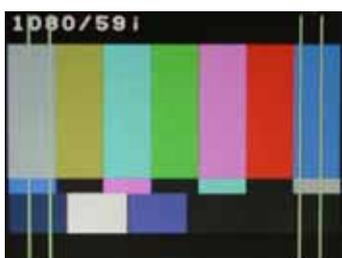
4:3



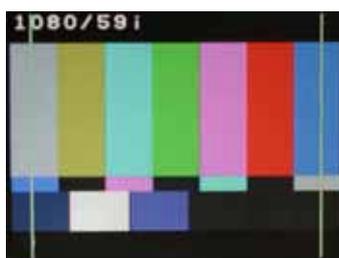
13:9+4:3



13:9



14:9+4:3



14:9

(2) CENTER MARKER[CENT MK]

センターマーカの表示を選択します。

OFF[OFF]	センターマーカを表示しません。
ON[ON]	センターマーカを表示します。



CENTER MARKER ON

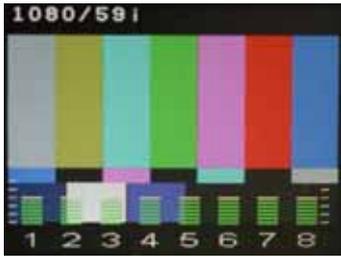
(5) AUDIO METER[AU METER]

オーディオレベルメーターの設定をします。

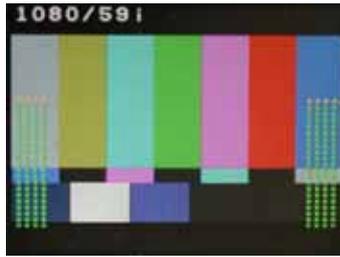
1) LOCATION[LOC]

オーディオレベルメーターの表示位置を切り替えます。

- OFF[OFF] レベルメーターを表示しません。
- UNDER[UNDER] 映像の下部にレベルメーターを重ねて表示します。
- OVER[OVER] 映像の上にレベルメーターを重ねて表示します。
- FULL[FULL] 画面全体にレベルメーターを表示します。



UNDER



OVER

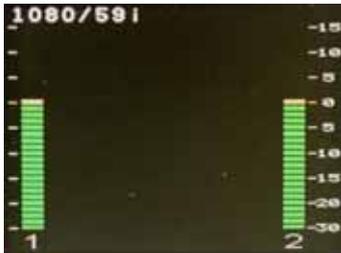


FULL

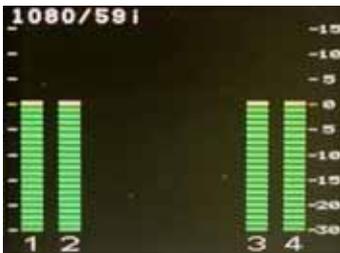
2) CHANNEL[CH]

エンベデッドオーディオのレベルメーターに表示するチャンネル数を選択します。

- 2CH[2CH] CH1, 2のレベルメーターを表示します。
- 4CH[4CH] CH1 ~ 4のレベルメーターを表示します。
- 8CH[8CH] CH1 ~ 8のレベルメーターを表示します。



2CH



4CH



8CH

またAESはCH1, 2、アナログはCH1のレベルメーターを表示します。



AES



アナログ

3) SCALE[SC]

オーディオレベルメーターのスケールを選択します。

- | | |
|--------------|----------------------------------|
| -18dB[-18dB] | -18dBFSを0dB(SOL)にしたVUメーターを表示します。 |
| -20dB[-20dB] | -20dBFSを0dB(SOL)にしたVUメーターを表示します。 |

(6) PICTURE[PICTURE]

画像の設定をします。

- | | |
|------------------|---|
| CONTRAST[CON] | 画像の明暗を設定します。0を基準に大きくなるほど明暗が高くなり、小さくなるほど明暗が低くなります。 |
| BRIGHT[BRI] | 画像の明るさを設定します。0を基準に大きくなるほど明るくなり、小さくなるほど暗くなります。 |
| CHROMA[CHR] | 画像の彩度を設定します。0を基準に大きくなるほど彩度高くなり、小さくなるほど彩度が低くなります。 |
| PHASE[PHA] | 画像の色相を設定します。0を基準に大きくなるほど紫色になり、小さくなるほど緑色になります。 |
| BACKLIGHT[BAC] | バックライトの明るさを設定します。0を基準に大きくなるほど明るくなり、小さくなるほど暗くなります。 |
| NTSC SETUP[NTSC] | アナログNTSCのセットアップ(黒レベル)を設定します。 |

(7) ALARM LAMP[ALRM LMP]

SDI映像信号のエラーでアラームランプが点灯する条件を設定します。

1) TRS ERROR[TRS]

TRSエラーの設定をします。

- | | |
|----------|------------------------|
| OFF[OFF] | TRSエラーでアラームランプを点灯しません。 |
| ON[ON] | TRSエラーでアラームランプを点灯します。 |

2) CRC ERROR[CRC](HD-SDIのみ)

Y CRC, C CRCエラーの設定をします。(HD-SDIのみ)

- | | |
|----------|-------------------------------------|
| OFF[OFF] | Y CRCエラーおよびC CRCエラーでアラームランプを点灯しません。 |
| ON[ON] | Y CRCエラーおよびC CRCエラーでアラームランプを点灯します。 |

(8) FORMAT DISPLAY[FMT DSP]

映像信号のフォーマットを画面に表示します。

- | | |
|------------|-----------------------------------|
| OFF[OFF] | 映像信号のフォーマットを表示しません。 |
| 3SEC[3SEC] | 映像信号のフォーマットを映像が切り替わったあと3秒間、表示します。 |
| ON[ON] | 常に映像信号のフォーマットを表示します。 |

(9) ERROR STATUS[ERR STAT]

SDI映像信号のエラーを表示します。

TRS [TRS] TRSエラー
C CRC [C CRC] C CRCエラー (HD-SDIのみ)
Y CRC [Y CRC] Y CRCエラー (HD-SDIのみ)



ERROR STATUS

(10) VERSION[VERSION]

プログラムのバージョンを表示します。



VERSION

4. 工場出荷時の設定

下記の操作で工場出荷時の設定に戻ります。

- (1) 本体の電源スイッチをOFFにします。
- (2) **SET** ボタンを押しながら電源スイッチをONにします。モニター画面に「VC-202」[Backup Initial(Initial Operation)]と表示するまで**SET** ボタンを押し続けます。
- (3) 表示したら**SET** ボタンから指を離します。これで工場出荷時の設定に戻ります。



BACKUP INITIAL

5. メニューツリー

MENU		初期値	
HD MARKER	OFF	[OFF]	マーカーを表示しません。
	4:3	[4:3]	4:3マーカーを表示します。
	13:9+4:3	[13:9+4:3]	13:9マーカーと4:3マーカーを表示します。
	13:9	[13:9]	13:9マーカーを表示します。
	14:9+4:3	[14:9+4:3]	14:9マーカーと4:3マーカーを表示します。
	14:9	[14:9]	14:9マーカーを表示します。
	CENTER MARKER		
	OFF	[OFF]	センターマーカーを表示しません。
	ON	[ON]	センターマーカーを表示します。
	ASPECT		
	4:3	[4:3]	4:3のアスペクトで表示します。
	16:9	[16:9]	16:9のアスペクトで表示します。
	AUDIO MONITOR		
	CH1+CH2	[CH1+CH2]	内蔵スピーカーにCH1+CH2、ヘッドホンの左側にCH1、右側にCH2を出力します。
	CH3+CH4	[CH3+CH4]	内蔵スピーカーにCH3+CH4、ヘッドホンの左側にCH3、右側にCH4を出力します。
CH5+CH6	[CH5+CH6]	内蔵スピーカーにCH5+CH6、ヘッドホンの左側にCH5、右側にCH6を出力します。	
CH7+CH8	[CH7+CH8]	内蔵スピーカーにCH7+CH8、ヘッドホンの左側にCH7、右側にCH8を出力します。	
CH1	[CH1]	内蔵スピーカー、ヘッドホンの左側および右側にCH1を出力します。	
CH2	[CH2]	内蔵スピーカー、ヘッドホンの左側および右側にCH2を出力します。	
CH3	[CH3]	内蔵スピーカー、ヘッドホンの左側および右側にCH3を出力します。	
CH4	[CH4]	内蔵スピーカー、ヘッドホンの左側および右側にCH4を出力します。	
CH5	[CH5]	内蔵スピーカー、ヘッドホンの左側および右側にCH5を出力します。	
CH6	[CH6]	内蔵スピーカー、ヘッドホンの左側および右側にCH6を出力します。	
CH7	[CH7]	内蔵スピーカー、ヘッドホンの左側および右側にCH7を出力します。	
CH8	[CH8]	内蔵スピーカー、ヘッドホンの左側および右側にCH8を出力します。	
AUDIO METER			
LOCATION			
OFF	[OFF]	レベルメーターを表示しません。	
UNDER	[UNDER]	映像の下部にレベルメーターを表示します。	
OVER	[OVER]	映像の上にレベルメーターを重ねて表示します。	
FULL	[FULL]	画面全体にレベルメーターのみを表示します。	
CHANNEL			
2CH	[2CH]	CH1,2のレベルメーターを表示します。	
4CH	[4CH]	CH1～4のレベルメーターを表示します。	
8CH	[8CH]	CH1～8のメーターを表示します。	
SCALE			
-18dB	[-18dB]	-18dBFSを0dB(SOL)にしたVUメーターを表示します。	
-20dB	[-20dB]	-20dBFSを0dB(SOL)にしたVUメーターを表示します。	
PICTURE			
CONTRAST			
-25 ~ +25	[0]	0を基準に数値が大きくなるほど明暗が高くなり、小さくなるほど明暗が低くなります。	
BRIGHT			
-25 ~ +25	[0]	0を基準に数値が大きくなるほど明るくなり、小さくなるほど暗くなります。	
CHROMA			
-25 ~ +25	[0]	0を基準に数値が大きくなるほど彩度が高くなり、小さくなるほど彩度が低くなります。	
PHASE			
-25 ~ +25	[0]	0を基準に数値が大きくなるほど紫色になり、小さくなるほど緑色になります。	
BACKLIGHT			
-10 ~ +10	[0]	0を基準に数値が大きくなるほど明るくなり、小さくなるほど暗くなります。	
NTSC SETUP			
0	[0]	セットアップを0IREに設定します。	
+7.5	[7.5]	セットアップを+7.5IREに設定します。	
ALARM LAMP			
TRS ERROR			
OFF	[OFF]	TRSのエラーでアラームランプを点灯しません。	
ON	[ON]	TRSのエラーでアラームランプを点灯します。	
CRC ERROR			
OFF	[OFF]	Y CRCおよびC CRCのエラーでアラームランプを点灯しません。	
ON	[ON]	Y CRCおよびC CRCのエラーでアラームランプを点灯します。	
FORMAT DISPLAY			
OFF	[OFF]	映像信号のフォーマットを表示しません。	
3SEC	[3SEC]	映像信号のフォーマットが切り替わったあと3秒間表示します。	
ON	[ON]	常に映像信号のフォーマットを表示します。	
ERROR STATUS			
SDI映像信号のエラーを表示します。(Y CRC, C CRCエラーはHD-SDIのみ)			
VERSION			
プログラムのバージョンを表示します。			

5.トラブルシューティング

トラブルが発生した場合の対処方法です。

(文中の □ は対処方法を示しています)

現象 電源が入らない！

原因 ・電源スイッチはON側になっていますか？

・ACアダプターがコンセントに挿入されていますか？

・ACアダプターのプラグが本体から抜けかかっていますか？

ACアダプターの接続を確認してください。

・バッテリーホルダーに入れた電池の極性は正しいですか？

電池の極性を確認してください。

・バッテリーホルダーに使用済みのアルカリ乾電池を使用していませんか？

・バッテリーホルダーに放電したニッケル水素電池を使用していませんか？

未使用のアルカリ乾電池または充電したニッケル水素電池と交換してください

原因がわからない場合は直ちに使用を中止し、弊社へお問い合わせください。

現象 電源がオン・オフを繰り返す！

原因 ・バッテリーホルダーに使用済みのアルカリ乾電池を使用していませんか？

・バッテリーホルダーに放電したニッケル水素電池を使用していませんか？

未使用のアルカリ乾電池または充電したニッケル水素電池と交換してください。

現象 入力信号が正常にモニター画面に出力されない！

原因 ・映像フォーマットの設定が入力信号に合っていますか？

INPUT SELECTのVIDEO FORMATの設定を確認してください。

現象 設定したデータがバックアップされない！

原因 ・設定した最後に□SETを押してからメニューを閉じましたか？

設定した最後には□SETを押してから□MENU/ESCを押してメニューから抜けてください。

現象 ボタンを押しても"KEL LOCK"と表示してボタン操作が出来ない！

原因 ・ボタン操作が禁止になっています。

解除するには□SETボタンを2秒間押してください。

6.仕様

1.機能

画像	ブライツ調整、クロマ調整、フェーズ調整	
マーカー	4:3, 13:9, 14:9 マーカー (HD-SDI)、センターマーカー	
音声	音量調整、モニター音声チャンネル選択(エンベデット)	
音声レベルメーター	HD(SD)-SDI EMBEDDED	8ch, 4ch, 2ch
	AES/EBU	2ch
	ANALOG	1ch
エラー・ステータス	TRS エラー, Y CRC エラー (HD-SDI), C CRC エラー (HD-SDI)	

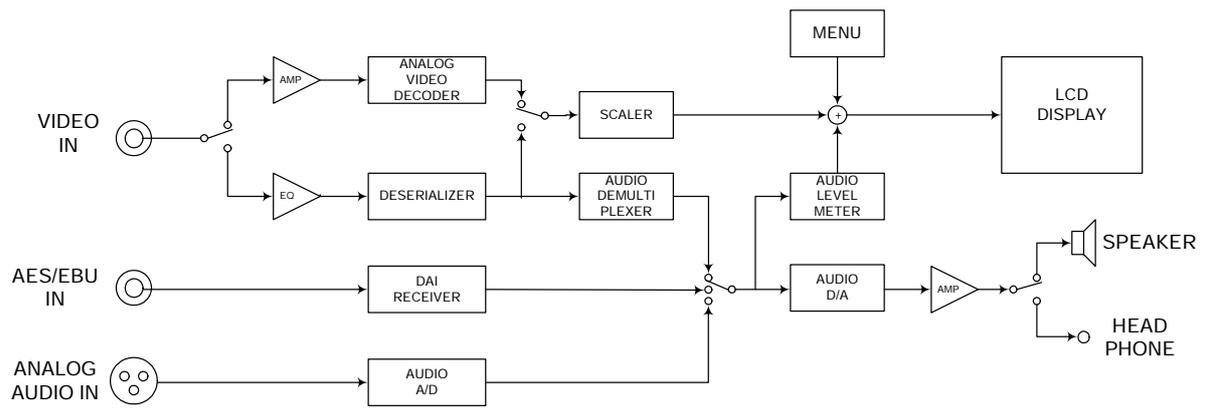
2.定格

入力信号			
・VIDEO IN	HD-SDI SMPTE 292M準拠	0.8Vp-p ± 10%/75	
	SD-SDI(D1 NTSC/PAL) SMPTE 259M-C準拠	0.8Vp-p ± 10%/75	
	ANALOG COMPOSITE (NTSC/PAL) SMPTE 170M/ITU-R	BT.470-6準拠	
		1.0Vp-p ± 10%/75	BNC 1系統(共通)
・AES/EBU IN	AES3 SMPTE 276M準拠	1.0Vp-p ± 10%/75	BNC 1系統
・ANALOG AUDIO IN	600 / HIGH (> 20K)		XLR(f) 1系統
出力信号			
・HEADPHONE OUT	30mW+30mW/16	3.5 ステレオジャック	1系統
外部電源	DC9V 6.3W (0.7A) DCジャック		1系統
VBH-26 バッテリーホルダー (オプション)	単3アルカリ乾電池(LR6)または単3形ニッケル水素電池(HR6) 6本		
液晶パネル	2.36インチ TFT 液晶		
内蔵スピーカー	0.3W モノラル		
外形寸法	80(W) × 138(H) × 45(D)mm (バッテリーホルダーおよび突起物含まず)		
質量	500g(バッテリーホルダーおよび電池を除く)		
動作温度	0 ~ 40		
動作湿度	20 ~ 80%RH(ただし結露なき事)		

3.性能

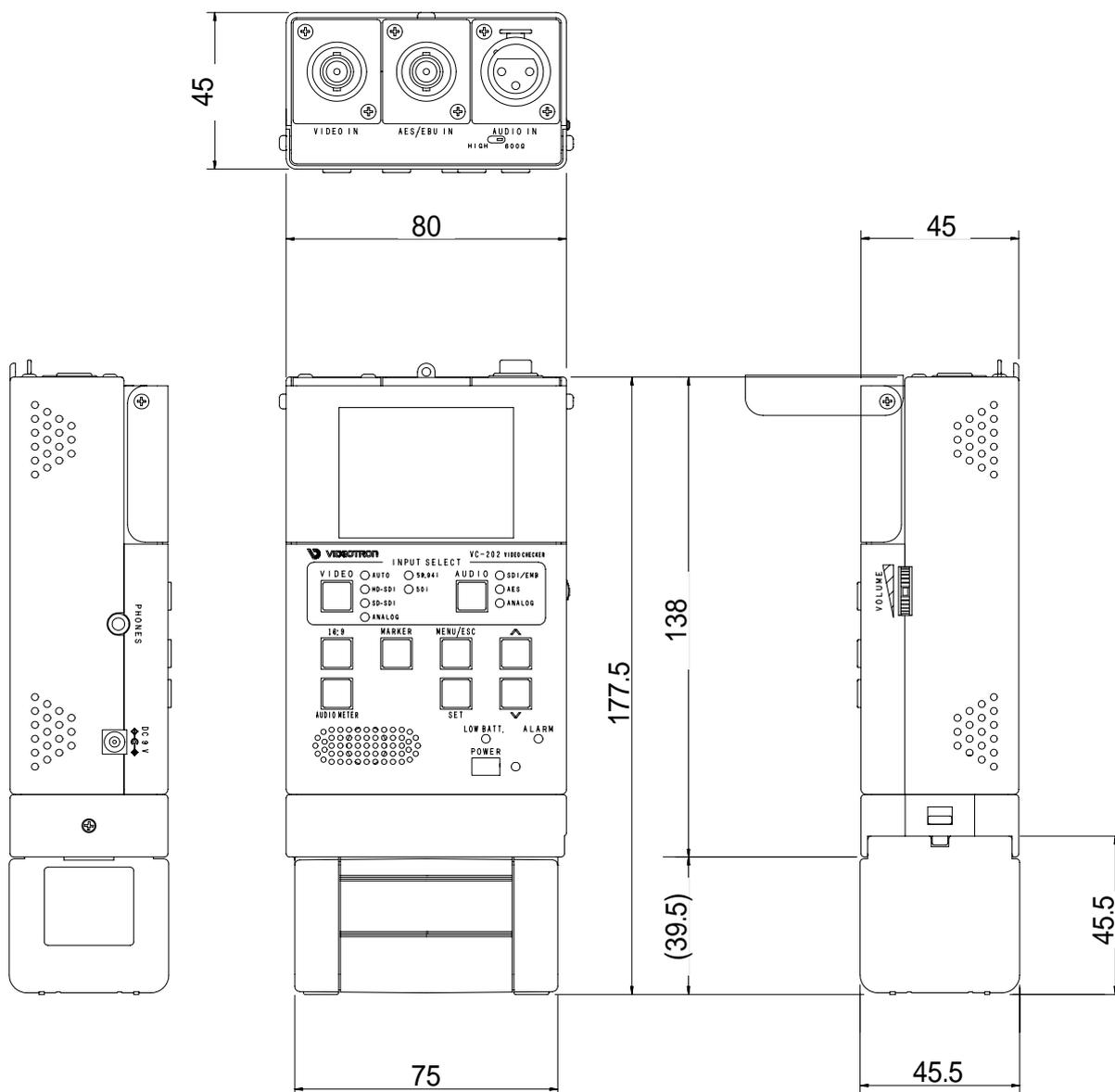
入力映像フォーマット	HD-SDI	1080i/50, 1080i/59.94, 1080i/60 1080sF/23.98, 1080sF/24 720p/59.94, 720p/60
	SD-SDI(D1 NTSC/PAL)	525i/59.94, 625i/50
	ANALOG COMPOSITE (NTSC/PAL)	525i/59.94, 625i/50
入力音声フォーマット	HD(SD)-SDI EMBEDDED	48kHz 同期 20bit
	AES/EBU	48kHz 20bit
	ANALOG	600 /HIGH (> 20k)
液晶パネル		
・表示有効エリア	48.0(H) × 35.685(V) mm	
・画素数	480 × 234pixel 画素配列デジタ 160 × (RGB) × 234	
・コントラスト	400:1	
・輝度	250cd/m2	
・視野角	(CR 10) 上/下=35/15, 右/左=50/50	

4. 系統圖

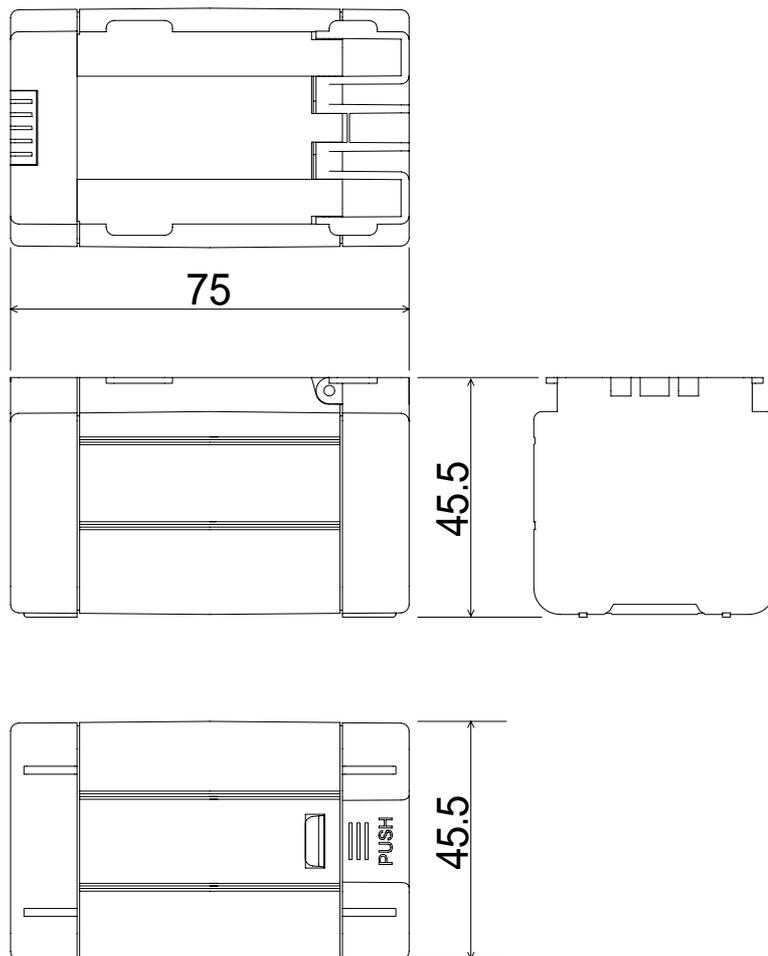


7. 外形寸法図

(1) VC-202 本体 + VBH-26 バッテリーホルダー (オプション)



(2)VBH-26 バッテリーホルダー(オプション)



御使用各位 殿

ビデオトロン株式会社

製造技術部

緊急時の連絡先について

日頃は、当社の製品をご使用賜わりまして誠にありがとうございます。
ご使用中の製品が故障する等の緊急時には、下記のところへご連絡いただければ
適切な処置を取りますので宜しくお願い申し上げます。

記

営業日の連絡先

ビデオトロン株式会社 製造技術部

〒193-0835 東京都八王子市千人町2 - 17 - 16

TEL 042-666-6329

FAX 042-666-6330

受付時間 8:30～17:00

e-mail: cs@videotron.co.jp

土曜・日曜・祝祭日の連絡先

留守番電話 042 - 666 - 6311

緊急時 090-3230-3507

受付時間 9:00～17:00

携帯電話の為、通話に障害を起す場合がありますので、あらかじめご了承願います。

無断転写禁止

- ・このファイルの著作権はビデオトロン株式会社にあります。
- ・このファイルに含まれる文書および図版の流用を禁止します。